

『サラとピンキーサンタの国へ行く』

富安陽子／作・絵 講談社 2018

ピンキー・ブルマーというブタのぬいぐるみは、サラちゃんのへやの、ダンボールでできたいえにすんでいます。サラとピンキーは、いつもいっしょに、いろんなところにあそびにいけます。今回のぼうけんは、サンタの国にプレゼントをまわっている子どもたちのために、サラとピンキーが大かつやくします。



『クリスマスのあかり チェコのイブのできごと』

レンカ・ロジノフスカ／作 出久根育／絵 木村有子／訳 福音館書店 2018

クリスマスイブの日、フランタは、ベツレヘムから届いたあかりを家のランプにわけてもらうために、ひとりで教会にむかいます。そのとちゅうでであった、気のどくなおじいさんのために、知恵と勇気をふりしぼります。



『クリスマスの女の子』

ルーマー・ゴッデン／作 久慈美貴／訳 たかおゆうこ／絵 徳間書店 2018

クリスマスイブ、おもちゃ屋の人形ホリーは、持ち主になつてくれる子どもを待っていました。お祈りすれば、ねがいがかんうと信じているのです。いっぽう、身寄りのない女の子アイビーは、ひとりでおもちゃ屋のある町にやってきました。ホリーとアイビーは安心できる自分の居場所を見つけることができるのでしょうか。



『メリークリスマス 世界の子どものクリスマス』

R. B. ウィルソン／文 市川里美／画 さくまゆみこ／訳

B L出版 2018

クリスマス、ときくとみなさんわくわくしますよね。日本では飾りつけをしたりケーキを食べたりしますが、日本だけではなく、世界の国々で、いろいろな方法でおいわいされています。ページをめくって、世界のクリスマスをのぞいてみませんか。



『クリスマスをとりもどせ!』

マット・ヘイグ／文 クリス・モルド／絵 杉本詠美／訳

西村書店東京出版編集部 2018

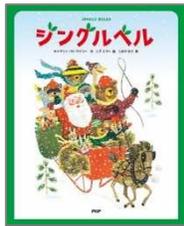
ファーザー・クリスマスのおかげで救貧院から出られたアメリカは、エルフの村で暮らし始めます。でも、勉強がわからず、すっかり落ち込んだアメリカは、ある時、道に大きな穴を見つけます。その下では、クリスマスを阻止する計画がすすめられていました。『クリスマスを世界を救う』シリーズ、3作目です。

クリスマスの おくりもの



2019

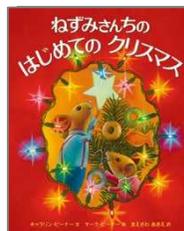
このブックリストは出版者の許可を得て表紙に掲載しています。
みやざきけんりつとしょかん こどもしつ(0985)29-2596



『ジングルベル』

キャサリン・N・デイリー／作 J. P. ミラー／絵、こみやゆう／訳
PHP研究所 2017

「ゆきを けり のやま こえて」くまの おやこが そりを はしらせませす。もりの ともだちも のり たのしい そりあそびです。そこに トナカイが かぜを ひいて こまっていた サンタクロースも のることに になりました。ジングルベルの うたとともに たのしめる えほんです。



『ねずみさんちのはじめてのクリスマス』

キャラリン・ビーナー／文 マーク・ビーナー／絵 まえざわあきえ／訳
徳間書店 2018

さむいさむい ふゆのひ、とうさんねずみと かあさんねずみと 17ひきのこねずみたちは、ゆかした24ばんちのへやへ おひっこしを しました。そこで、はじめて クリスマスツリーをみて、ねずみさんたちも クリスマスを おいらいしようとして じゅんぴを はじめました。



『はりねずみくんのクリスマス・イブ』

M・クリスティーナ・パトラー／文 ティナ・マクノートン／画
女子パウロ会／訳 女子パウロ会 2018

はりねずみくんは、おうちに ツリーをかざったけれど、クリスマスらしくなくて がっかり。ねずみちゃんたちが、ツリーを ぴかぴかにしましたが、プレゼントを わすれていることに きづきます。



『クリスマスのおかいもの』

ルー・ピーコック／ぶん ヘレン・スティーヴンズ／え
こみやゆう／やく ほるぷ出版 2018

もうすぐ クリスマスです。ノアと ぞうの オリバーは ママと いっしょに しんせきへの プレゼントを かいに やってきました。かいものが おわると、つかれて たくたです。そして かえるときに ぞうの オリバーが いないことに きがつきます。みつかるのでしょうか。



『キツネのはじめてのふゆ』

マリオン・デーデン・パウアー／作 リチャード・ジョーンズ／絵
横山和江／訳 鈴木出版 2018

ゆきが ふってきました。キツネは ふゆに なにを すればいいのか わかりませんでした。いろいろな どうぶつたちに ふゆに なにをするのか きいてみましたが、キツネには しっくりきません。キツネは はじめてのふゆに、いったい なにを するのでしょうか。



『サンタおじさんのいねむり』

ルイズ＝ファチオ／作 前田三恵子／文 柿本幸造／絵
偕成社 1969

サンタおじさんが プレゼントを くぼりに でかけるとき、おくさんが おべんとうを わたしてくれました。プレゼントの じゅんぴで つかれていた サンタおじさんは、おべんとうを たべて ひとやすみしました。おなかいっぱいになった サンタおじさんは、ねむってしまいました。



『雪の花』ロシアのお話

セルゲイ・コズロフ／原作 オリガ・ファージェーエヴァ／絵
田中友子／文 偕成社 2018

おおみそかのひ、もりのどうぶつたちは もみのきを かざって、しんねんをむかえます。ところが、クマくんは ねつをだして ねこんでいました。クマくんは 『ゆきのはな』がないと たすからないと きいて、ハリネズミは、もりのなかへ 『ゆきのはな』を さがしにでかけました。



『サンタクロースのしろいねこ』

スー・ステイントン／文 2アン・モーティマー／絵
まえざわあきえ／訳 徳間書店 2003

せかいで いちばん きたにある サンタクロースの いえには、まっしろな ねこの スノウが います。あるとしのクリスマスイブ、スノウは サンタさんと いっしょに でかけました。でも、とちゅうで そりから おちてしまいます。スノウは どうなって しまうのでしょうか。



『たいこたたきの少年』

バーナデット・ワッツ／文と絵、松永美穂／訳
西村書店東京出版編集部 2018

まずしい ベンジャミンは、たいこたたきが じょうずです。うまれた ばかりの おうさまの おいおいに いきますが、ベンジャミンには おくりものがありません。そこで たいこを たたきました。すると、おうさまは ベンジャミンの たいこを ととも よろこんでくれたのです。



『オーロラの国の子どもたち』

イングリとエドガー・パーリン・ドーレア／さく
かみじょうゆみこ／やく 福音館書店 2018

「オーロラの国」とは、ノルウェーの いちばんきた、ちきゅうの てっぺんのことです。このほんでは、オーロラの国に すんでいる リーセとラッセの きょうだいの 1ねんかんの せいかつが うつくしく えがかれています。